

2026年度 教育目標

(1) 本校の教育目標

ア 基本目標

心身ともに健やかで、思いやりがあり、たくましく生きる人間を育てる。

イ めざす生徒像

- ・自ら学び、深く考え、行動する生徒 【善悪の判断をよく考えて行動する子】
- ・礼儀正しく、思いやりのある生徒 【思いやりのあるやさしい子】
- ・心身を鍛え、生命を大切にする生徒 【命を大切にする子】

(2) 経営方針

一宮市教育大綱に基づき、学校運営協議会を核として、保護者、地域社会、小学校と連携して、「郷土とともに生きる子 ― 自分を大切にする子・人を大切にする子・郷土を大切にする子 ―」を育成する。

○ 生き方について自ら考え、生涯にわたって社会的に自己実現できる力を養う。

○ 生徒が安心して生活できる学校、生徒・保護者・地域住民・職員が信頼関係で結ばれた学校をつくる。

ア 確かな学力を育成するために

- ・生徒一人一人を大切にしたい授業を目指し「主体的な学習態度」を育成する。
- ・たえず授業改善に努め、「基礎的・基本的な知識や技能」の定着を図る。
- ・言語活動を充実させ、読む力・思考力・判断力・表現力の育成に努める。
- ・学習用タブレット端末の活用を図り、効果的な学習活動および学習支援を行う。
- ・個々の生徒の特性についての理解を深め、特別支援教育およびインクルーシブ教育の充実を図る。

イ 豊かな心を育成するために

- ・自己存在感や充実感がある「居場所づくり」に努め、いじめの未然防止や不登校対策に取り組む。
- ・道徳の時間の充実や体験活動等を通して、「生命尊重の精神」と「思いやりの心」を育てる。
- ・探究的な学習や体験活動、読書活動等を通して、「豊かな人間性」を育てる。
- ・地域社会と連携した活動等を通して、「郷土愛」「日本の文化と伝統を尊重する態度」を育む。
- ・情報教育を推進するとともに、情報モラル教育の充実を図る。
- ・キャリア教育を通して、自己の個性や適性を知り、「将来の生き方を考えた進路選択能力」を育てる。
- ・持続可能な社会の実現を目指し、SDGsを意識した環境教育を進める。

ウ 健やかな体を育成するために

- ・体育の授業、体育的行事等を通して、「心身の健やかな成長」を促し、「社会性」を育てる。
- ・食育や保健指導等を通して、「健全で健康的な生活を実践する力」を育てる。
- ・安全教育の充実を図り、安全な生活を送るための能力を育てる。

エ 信頼される学校づくりのために

- ・学校運営協議会を核として、開かれた学校をめざし、家庭や地域社会、小学校、その他関係機関等との連携を密にし、相互信頼の上に立った生徒の健全育成に努める。
- ・現職教育の充実を図り、職員としての資質の向上と専門性の確立に努める。
- ・施設・設備の安全管理と防災体制の充実を図り、安心・安全で潤いのある教育環境づくりに努める。

(3) 本年度の重点目標

- 「わかる・できる・身につく」が実感できる授業実践に努め、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る。
- 「あいさつをする」「時間を守る」「整理・整頓に努める」を柱に全職員共通理解のもと、職員一丸となって指導にあたる。
- かけがえのない命を大切に、安全に生活できる力を育成する。

- ア ① 「めあて」「まとめ」の明示と、「聞く」「話す」「書く」「考える」等の場面を明確にした授業の徹底を図る。
- ② 振り返り等をもとに、習熟度の把握を行い、適切な指導支援を充実させた授業を行う。
- ③ 漢字検定や計算検定の取り組みを強化し、基礎学力の定着を図る。
- ④ 読書活動や新聞活用を推進し、読む力の育成を図る。
- ⑤ ペア・グループ学習など話し合い活動を授業に取り入れ、協働的な学習を推進し、表現力を高める。
- ⑥ ICT機器の活用を推進し、プログラミング教育、情報モラル教育等、情報教育の充実を図る。
- ⑦ 現職教育を充実させ、個に応じた学習指導実践力の向上を図る。
- ⑧ 特別支援教育（交流活動や通級指導など）の実戦を通し、インクルーシブ教育についての理解を深める。
- イ ① 授業をはじめ、学校の教育活動全般を通して「人間関係力」の向上をめざす。
- ② カウンセリングマインドの向上を図り、相談活動を充実させ、生徒・保護者との信頼関係を強める。
- ③ 縦割り集団を活用した生徒主体の学校行事や体験活動等の推進を図り、達成感と自己有用感を味わわせる。
- ④ 道徳の授業や日常の指導、体験活動、保健・安全指導等を通して、自他の生命や人権を尊重する気持ちや規範意識を高める。
- ⑤ 「丹中ライフ」や生活アンケート、相談活動やQ-U検査を通して生徒理解を深め、よりよい人間関係の構築と居心地のいい居場所づくりに努める。
- ⑥ SR（サポートルーム）の機能を活用し、全校体勢で不登校対策を推進する。また、SC、SSW、心の教室相談員、教育支援センターなどと連携し、不登校の早期発見、早期解決に努める。
- ⑦ 生き方指導に重きを置き、3年間を見通した探究的な学習や体験活動を中心に、発達段階を踏まえた計画的・継続的なキャリア教育の充実を図る。
- 1年: ゲストティーチャーに学ぶ会（全体会）
- 2年: ゲストティーチャーに学ぶ会（分科会）・マナー講座
- 上級学校調べ・上級学校訪問・卒業生と語る会・上級学校の先生の話聞く会
- 3年: 上級学校の先生による出前授業・体験入学
- ⑧ 図書館司書・ボランティアと協力し、図書館利用の拡充を図る。
- ウ ① 体育祭等の行事や活動を通して、規律があり、励ましあえる人間関係の育成とたくましい心身の育成を図る。
- ② 保健指導、健康診断、健康相談等により、自分の健康を管理する意識や能力の向上を図る。
- ③ 包括的性教育の計画的な実施に向けての研究を進め、心身の健全な育成を図る。
- ④ 危険予知トレーニングをもとに、自分の命を自分で守る能力を養うとともに、交通ルールを遵守し、マナー向上に努める気持ちを育成する。
- エ ① 積極的な学校公開と学校運営協議会だよりや学年だより、学校WEBサイト等の一層の充実を図り、学校の様子を保護者、地域住民に広く発信する。
- ② 小学校での授業の交流、小中合同会議などを通して、小学生にとって中学校を身近なものにする。
- ③ 教員同士で、積極的に授業の相互参観を行い、授業法の向上を図る。
- ④ 生徒・保護者・職員のウェルビーイングの向上を目指し、働き方改革にかかる業務改善に取り組む。